

現地活動報告

個人・団体共に他県からの受入態勢が整っているため、「遠野まごころネット」を選択し、活動させていただきましたので、今後の参考情報として報告させていただきます。

1. 日程	平成23年6月29日(水)～7月3日(日)
2. 行程	東京都の上野駅から岩手県遠野駅まで直通の夜間高速バスを利用
3. 事前準備	<p>4月5日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元の社会福祉協議会で「災害ボランティア保険(天災B)」に加入 <p>6月26日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●横浜市にある大鳥中学校コミュニティハウスで行われた「タッピングタッチ」講座を受講し、手技をマスター <p>http://www.tappingtouch.org/jp/t_touch/index.html</p> <p>6月27日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●夜間高速バス(遠野駅直通便)を予約 国際興業(東京) 03-5917-8510 ●遠野被災地支援ボランティアネットワーク「遠野まごころネット」のサイトからボランティアの事前申し込み手続きを完了 <p>(注意:活動希望日の2日前の18時までに予約)</p> <p>http://tonomagokoro.net/?page_id=24</p> <ul style="list-style-type: none"> ●必要物品等を購入
4. 活動行程	<p>6月29日(水)</p> <p>23:05 上野駅 発</p> <p>6月30日(木)</p> <p>06:40 遠野駅 着</p> <p>06:40 予約した遠野交通タクシーで現地へ 0198-62-3355</p> <p>06:50 活動拠点である遠野市総合福祉センター 着</p> <p>07:00 受付開始</p> <p>07:30 元自衛隊出身の隊長が朝礼を開始</p> <p>08:00～ (現地活動班) 活動場所・内容は希望制のため、陸前高田を選択し、現地までは支援バスで出発、リーダー・班長の指示の下、家屋や地域の片付けをお手伝いさせていただきました。</p> <p>16:00</p> <p>7月1日(金) (写真班)</p> <p>08:00～ 活動拠点内にある場所で、アルバム・写真等の洗浄活動を中心にお手伝いさせていただきました。</p> <p>16:00</p> <p>7月2日(土) (ふれあい隊)</p> <p>08:00～ 大槌町城山体育館及び大槌町中央公民館等で避難所生活をされている方々に「タッピングタッチ」等をさせていただきました。</p> <p>16:00</p> <p>21:59 遠野駅 発</p> <p>7月3日(日)</p> <p>05:44 上野駅 着</p>

状況と所見

<被災地の状況>

- あまりにも広範囲に壊滅的な被害が出ているのを目の当たりにし、言葉が出ない状況でした。
- 大槌町・陸前高田・釜石等、今だ手つかずの状況が多く、箇所で見受けられました。
- 現場・避難所・活動拠点等、大型のハエが多く発生していました。

<まごころネットの状況>

- 全国各地から、日帰り→長期滞在までのボランティアが多数参加されていました。(リピーター多い)
- 受入態勢はかなり整っており、体育館での宿泊生活等の不便さは全くありませんでした。
- 周囲には買い物できる大型スーパー等があり、不足分の買い出しには十分過ぎるほどでした。
- 隊長・リーダー・班長等の役割分担がしっかりしており、安心して任せられました。
- 集団生活におけるマナー等を全員が守っているため、大きなトラブル等はありませんでした。

<所見>

- まだまだボランティアの人数が足りないと思います。**特に夏休みまでの平日が不足していると感じました。参考までに、参加者の多くが学生(団体)、企業派遣、会社等を卒業されたOB・OGの方々、特に女性は単独で参加されている方が多く見受けられました。
- 「遠野まごころネット」では、被災地で活動するために早朝7時からの受付に間に合わなければなりません。(そのために直行便のバスを利用しました)短期間での参加の方は十分注意願います。(昼頃に受付された方には拠点でのお仕事など有)
- 被災地で片付け等の活動を希望される方で、服装等が十分でない場合、絶対に現地へは行けませんので、事前準備品の確認を十分注意願います。
- 活動中に熱中症等にかかったり、釘・ガラス・バラのトゲでの怪我が多く発生しています。(毛抜きが役立ちました)特に体調管理は前日の睡眠、前日の水分補給から始まっていますので、十分な備えで参加されることを願います。
- 事前に講習を受けた「タッピングタッチ」がお役に立ちました。もしかしたら活用できるかもしれないと思って直前に受講したのですが、現地の求人広告にはさまざまな特技が活かせるものが多いので、積極的に参加していただけることを願っています。
- 被災者の方々がボランティア疲れをしているかもしれない…と感じました。中越地震の時も感じたのですが、「せっかく全国各地から来ていただいたのだから…と断れずにすべてを受け入れてしまい、初対面のボランティアに対して気を使いすぎて疲れてしまう…」やはり被災者の方々と直接関わる場合、長期滞在者が理想であるということを実感してきました。



7:15～ラジオ体操



7:30～朝礼



17:30～全体ミーティング